様式4

都市再生整備計画　フォローアップ報告書
豊川駅周辺地区

令和3年11月

愛知県豊川市

1．数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4－①　都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	安全・安心分野に関する市民満足度の向上	ポイント	+1.5	+1.6	+1.7	確定 見込み ●	○	あり なし	1.5	令和3年8月	△	—	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	三明公園事業、2号公園事業、豊川駅自転車駐車場整備事業、豊川駅東土地区画整理事業及び地域創造支援事業（安全・安心事業）の実施により、安全・安心な生活環境が整ってきていることから、地域住民の安全・安心分野に関する市民満足度の向上に繋がったものの、豊川牧野線及び姫街道踏切のアンダー化が進んでいないことから、交通安全対策、消防体制及び救急体制の項目が、事後評価時の見込みほど向上せず、未達成となっている。今後も事業の早期完了を目指し、地権者と粘り強く交渉を継続していく。
指標2	建設・整備分野に関する市民満足度の向上	ポイント	+0.3	+0.5	+0.5	確定 見込み ●	○	あり なし	0.5	令和3年8月	○	—	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	豊川駅東土地区画整理事業や三明公園事業等が進み、着実に良好な都市空間が形成されてきている。また、2号公園や豊川駅自転車駐車場の整備完了に伴い、建設・整備分野に関する市民満足度の向上に繋がったものと考えられる。
指標3	地区内人口	指数	−0.01	+0.00	−0.01	確定 見込み ●	△	あり なし ●	−0.01	令和2年4月	△	—	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	駅へのアクセス等利便性が高いこと、土地区画整理事業や公園事業を実施していることなどにより、良好な居住空間の整備が進みつつあるものの、難航者等により土地区画整理事業地内において事業の進捗が滞っている地区があることや、居住に関する基盤整備施策が駅東側に集中していることなどから、整備効果の発現が限定的なものとなっており、計画に定める数値目標は未達成となった。 しかしながら、土地区画整理事業地内で順調に整備が進んでいる地区においては、新規住宅の建築が進められており、当該地区を含む小学校区では人口が増加していることから、一定の成果はあったものと考えられる。
指標4	歩行者交通量	人	60,648	63,692	50,321	確定 見込み ●	△	あり なし ●	28,909	令和3年2月	△	—	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業や公園事業により歩行空間の整備や滞在スペースの確保が進んだこと、地区西側に歴史的文化財が点在していることなど、賑わいを生み出す土台は整いつつあり、地区内の道路空間や公共駐車場を活用したイベントの開催日数が増加していたり、イベントの主催者である地元商店街振興組合の組合員数が増加しているなど、継続的に賑わいを生み出す地域の体制は向上しているものの、新型コロナウイルスの影響があったことから、計画に定める数値目標は未達成となった。 今後はアフターコロナについても考えつつ、中心市街地及びその周辺地区の活性化並びに安全な歩行者空間の創出にどのように取り組んでいくかが課題である。

事後評価シート　様式2−1及び添付様式2−①から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4－②　その他の数値指標の確定

指　標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	市民定住意向の向上	%	76		81	確定 ● / 見込み				R　年　月		－	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	駅の東側において豊川駅東土地区画整理事業や三明公園事業が進み、良好な住環境が形成されてきている他、駅の西側においてリノベーション店舗の開店や新たなイベントの開催等といった活性化に向けた取り組みが進んでいる。このように、様々な魅力を有する地区になってきていること等が市民定住意向の向上につながったと考えられる。
その他の数値指標2	豊川駅東土地区画整理事業地区内の増加戸数	戸	0		155	確定 ● / 見込み				R　年　月		－	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	駅からの利便性等が高い本地区において豊川駅東土地区画整理事業や三明公園事業等が進み、良好な都市基盤・都市空間が形成されてきている。これらの事業効果が継続的な新築住宅の着工につながっていると考えられる。
その他の数値指標3	豊川駅・豊川稲荷駅における年間乗降客数	人	2,024,509		2,157,725	確定 ● / 見込み				R　年　月		－	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	本計画において、駅の東側で豊川駅東土地区画整理事業等により定住促進が進むとともに、駅の西側で新たな賑わいが創出されてきている。このような定住促進・賑わいの創出等が年間乗降客数の増加につながったと考えられる。
その他の数値指標4	商店街振興組合の組合員数	店舗	75		100	確定 ● / 見込み				R　年　月		－	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	まちなか再生検討事業や、計画期間内に商店街振興組合が新たに1団体設立された等によりイベントを主催する組合の会員数が増加してきている。これらのことからまちづくりの機運が高まってきており、新たなイベントも開催され、にぎわいを生んでいる。継続的にイベントを実施していく土台作りができ、活性化に向けた取り組みが進んできている。組合員数の維持・増加は、これらの活動が効果的・持続的なものであることを示唆していると考えられる。
その他の数値指標5	活性化に資するイベントの開催数	回/年	9		18	確定 ● / 見込み				R　年　月		－	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	まちなか再生検討事業等を実施し、まちづくりの主体となるプレーヤーの意見を踏まえながらハード整備やソフト事業を実施してきている。また、イベント支援事業で、行政が後方支援を行うことにより、新たなイベントが発生しやすい環境を作っている。そのような過程で事業を進めたことで、まちづくりの機運が高まり、市民主体による新たなイベント等が開催される状況に至ったと考えられる。

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-②から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート　添付様式5－③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題　その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	①安全・安心で良好な市街地を活かした活動の推進	・道路照明灯の維持管理事業の実施 ・防犯ボランティア団体の活動支援	・本整備計画区域において、道路照明灯の及び防犯灯の新設・更新・撤去を計140灯実施した。 ・豊川市内の防犯ボランティア団体（31団体）に対し、活動支援費補助金を交付した。	・今後も安全・安心なまちづくりの実現に向け、市民意識の向上を図る。
	②継続的なコンパクトシティの推進	・豊川市拠点地区定住促進事業費補助金の交付 ・豊川市拠点地区都市機能立地促進事業費補助金の交付 ・パーク＆ライド促進事業の検討	・豊川市拠点地区定住促進事業費補助金制度により、本整備計画区域において、26世帯へ補助金を交付した。 ・豊川市拠点地区都市機能立地促進事業費補助金制度により、本整備区域内において、3件の事業所へ補助金を交付した。 ・パーク＆ライド事業推進上の課題及び取組みの方向性の整理を行った。	・今後も良好な宅地基盤を活用しながら、定住人口の維持・増加を図ること及び魅力的な都市空間の形成を図る。
	③市民主体のまちづくり活動の維持	・市民による維持管理活動の推進・支援 ・イベント支援事業等の継続実施	・町内会からの町内要望を活用した基盤整備の維持管理事業を実施した。	・町内会からの要望や、市民何でも意見箱等により住民のニーズを把握し、地区内の都市機能・生活環境のさらなる充実を図る。 ・アフターコロナにおけるイベント支援事業について、どのように考えていくか課題である。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他　必要な改善策	①豊川駅からの安全安心な歩行者動線の確保	・豊川牧野線整備事業の実施	・歩道付きの道路に改良する計画であるため、整備区間の地権者と用地交渉を行った。	・豊川牧野線は、道路幅が狭いにも関わらず交通量が多い。そのため、歩行者の危険性が高く敬遠されがちである。それを解消し、地域住民・来街者の回遊性・安全性を向上させるために、整備区間の交渉難航中の地権者と今後も粘り強く交渉を継続していく。
	②まちなかの居住促進	・豊川市拠点地区定住促進事業費補助金の交付 ・豊川市拠点地区都市機能立地促進事業費補助金の交付 ・空家・空地を活用した居住促進施策の検討	・豊川市拠点地区定住促進事業費補助金制度により、本整備計画区域において、26世帯へ補助金を交付した。 ・豊川市拠点地区都市機能立地促進事業費補助金制度により、本整備区域内において、3件の事業所へ補助金を交付した。 ・豊川市空家バンクに3件の物件登録を受け付けた。また、全登録物件のうち8件について、所有者と活用希望者との契約が成立した。 ・空家見学ツアーを実施し、事業者へ補助金を交付した。	・土地区画整理事業を施行した東側エリアのみならず、豊川駅周辺において、今後もまちなか居住を推進する。
	③安定的な歩行者の回遊・賑わいの創出	・空家リノベーション事業 ・ポケットパーク整備活用事業	・豊川市空家バンクに3件の物件登録を受け付けた。また、全登録物件のうち8件について、所有者と活用希望者との契約が成立した。 ・空家見学ツアーを実施し、事業者へ補助金を交付した。 ・ポケットパークにおいて近隣商店街が企画したイベントが開催され、来街者の回遊性の向上や滞在時間を延ばすことができ、商店街の活性化が推進された。	・魅力的な空間・活動が形成・実施されてきている中心市街地において、今後も市民と協働によるまちなか再生の検討と事業の実施を継続する。
	④都市基盤施設整備の推進	・ボランティアや市民団体への支援の推進 ・都市基盤施設整備の実施	・豊川市内で清掃活動などをしているボランティアや市民団体への取材を行い、市民へ活動内容を公表することで、これらの活動への参加を推進している。	・防犯・防災など、住民のニーズを把握し、都市機能・生活機能のさらなる充実を図り、地区内人口の定着を図る。
	⑤歴史的な資源を生かしたまちづくり	・空家リノベーション事業 ・ポケットパーク整備活用事業 ・文化的景観等を文化財として位置付けることを検討	・豊川市空家バンクに3件の物件登録を受け付けた。また、全登録物件のうち8件について、所有者と活用希望者との契約が成立した。 ・空家見学ツアーを実施し、事業者へ補助金を交付した。 ・ポケットパークにおいて近隣商店街が企画したイベントが開催され、来街者の回遊性の向上や滞在時間を延ばすことができ、商店街の活性化が推進された。	・長い年月をかけ磨かれてきた豊川稲荷・妙厳寺とその門前町に形成された街並みの歴史的価値を明確化し、今後もそれを中核にしたまちづくりを推進する。

事後評価シート　添付様式5－③から転記

様式4－④　フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題　その他特記事項